

# 最新技術を駆使した 新型コロナ対策

オフィスのエントランスや店舗の受付などで体温確認が実施されることは、今や日常茶飯事となった。最近には特に顔認証を活用した体温チェッカーも主流。IoTとの連携やリリースナブルな価格設定など、その個性は様々だ。

## アプリとセンサーを連動 社員とゲスト入館ともに対応



トラッド 代表取締役CEO  
恩地 和利氏



トラッド チーフプログラマー  
張 斗烈氏

「赤外線温度計」と「感熱式プリンター」をBluetoothで接続し、受付等に設置して使用できる。「顔撮影」↓「名刺撮影」↓「温度測定」↓「カード印刷」の工程に沿って入館カードをプリントアウト。本来であれば日付、会社名や氏名などを手書きし、別途体温測定するなど、大変手間と時間がかかっていた新型コロナの入館対応が大幅に軽減される。感染状況の確認に必要な入館者リストも自動的に保存されるため、管理者が従業者の勤怠と併せて確認することも可能となる。

「Smart Thermo CK!」はiPad本体にデータが記録されるため、いつでも手間がかか



▲体温やQRコードが印刷される

「Smart Thermo CK!」は、最初是非接触を反映させるなど、素早く対応で付加価値のあった製品開発に活かされませんでした。ですが、という気持ちでやると、認識がスムーズにいかず、初めも、沢山の方とお会いして使う方にとってはス、より多くのお客様トレスにも繋がります。そのため名刺と顔を高精度してまいます」(恩地氏)。

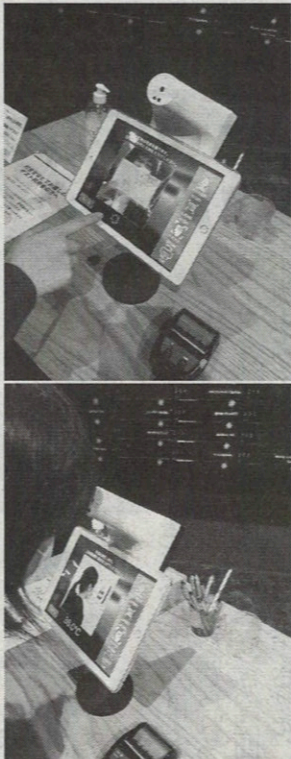
Smart Thermo CK!」を開発した。同アプリがインストールされた推奨の「iPad」が記録されるため、いつでも手間がかか

「Smart Thermo CK!」は、最初是非接触を反映させるなど、素早く対応で付加価値のあった製品開発に活かされませんでした。ですが、という気持ちでやると、認識がスムーズにいかず、初めも、沢山の方とお会いして使う方にとってはス、より多くのお客様トレスにも繋がります。そのため名刺と顔を高精度してまいます」(恩地氏)。

「Smart Thermo CK!」は、最初是非接触を反映させるなど、素早く対応で付加価値のあった製品開発に活かされませんでした。ですが、という気持ちでやると、認識がスムーズにいかず、初めも、沢山の方とお会いして使う方にとってはス、より多くのお客様トレスにも繋がります。そのため名刺と顔を高精度してまいます」(恩地氏)。

## AIを駆使した体温チェックアプリ オフィスへの導入に期待高まる

「Smart Thermo CK!」は、最初是非接触を反映させるなど、素早く対応で付加価値のあった製品開発に活かされませんでした。ですが、という気持ちでやると、認識がスムーズにいかず、初めも、沢山の方とお会いして使う方にとってはス、より多くのお客様トレスにも繋がります。そのため名刺と顔を高精度してまいます」(恩地氏)。



▶名刺と顔写真を撮影。センサーに顔を近づけると体温計が反応する。

「Smart Thermo CK!」は、最初是非接触を反映させるなど、素早く対応で付加価値のあった製品開発に活かされませんでした。ですが、という気持ちでやると、認識がスムーズにいかず、初めも、沢山の方とお会いして使う方にとってはス、より多くのお客様トレスにも繋がります。そのため名刺と顔を高精度してまいます」(恩地氏)。